

## 協定留学近況報告書

記 入 日	2017年 11月 12日
留 学 先 大 学	ハインリッヒ・ハイネ(デュッセルドルフ)大学
留 学 先 での 所 属 学 部 等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) <small>※学部等名(日本語):現代日本学部, (現地言語での名称):Modernes Japan</small> <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している。 <input type="checkbox"/> その他:
留 学 期 間	2017年10月-2018年7月
明 治 大 学 での 所 属	文学部文学科ドイツ文学専攻 / ____研究科____専攻
学 年 (出 発 時 本 学 での 学 年)	学部4年生 / 研究科 <input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程 年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

大学から送られてくるメールを読んだり、実際にデュッセルドルフ大学やほかの大学に留学している、もしくはしていた学生から話を聞いたりして情報を集めていました。大学から送られてくるメールの中で、寮やドイツ語のクラス分けテスト、チューターの申しこみをすることができました。なので、定期的に自分のメールボックスを確認することは大切だと思います。チューターの方のおかげで、ビザ申請や銀行口座の開設が非常にスムーズに行えたので、チューターの申し込みをしたのはよかったと思っています。

### II-1. 留学のための渡航前手続き(留学ビザ) ※詳細に記入して下さい

ビザの種類: 学生ビザ	申請先: Ausländerbehörde
ビザ取得所要日数: 約 1 か月 (申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用: 100€(現金の場合 101€)

ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか？また、どのように手配しましたか？

パスポート、住民登録証明書、親の経済負担証明書、ビザ申請書、ドイツの健康保険証明書、顔写真、学籍登録の証明書ビザ申請書はビザ申請の予約をする時にもらうことができました。

具体的な申し込み手順を教えてください。

住民登録をしいに行った際に、ビザ申請の予約をとることができました。担当者がとても親切な方で、予約の際に申請時に提出するものを紙にまとめてくれました。ビザを申請したら、約 3 週間後 Ausländerbehörde から手紙が届きます。そこに記載されている URL からビザのカードを受け取りに行く日時を予約することができます。私の場合、10 月 2 日に最初のビザ申請の予約を取ったのですが、11 月 3 日にビザのカードを無事取得することができました。チューターが予約時と申請時に同行してくれたため、とても心強かったです。

ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか？

### ビザ取得に関して困った点・注意点

私の留学に対する心配事の一つが、このビザ申請だったのですが、1か月という短い期間で取得できました。私が予約を取る直前に、その3日後申請する予定だった人のキャンセルが偶然出たため、このような短期間で取得となりました。しかし、通常の場合、予約をとれるのは3か月先なようなので、到着したら即座にビザの申請をしたほうが良いと思います。

### II-2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備, 携帯電話購入, 荷物運送など)

プリペイドカードの一つ、マネパカードというもののお金をチャージして持ってきています。また、現金も持ってきました。荷物運送は日本にいる間に荷造りを済ませ、親に指定した日にちに送ってもらいました。EMS を利用したのですが、荷物の到着には2週間と少しかかりました。「ドイツの税関は厳しいから送ってもなかなか届かない」という情報をインターネットで見ましたが、私が詰めた荷物は全部無事に届きました。携帯電話は日本のものを持参していますが、渡航前に電話番号を使えなくしておきました。

### Ⅲ. 現地到着後のながれ

#### 1. 到着時の様子

利用航空会社	Turkish Airlines 私はデュッセルドルフに行く前に1か月ベルリンにいましたので、Turkish Airlinesは東京からベルリンまでに利用した会社です。ベルリンからデュッセルドルフまではバス(Flix Bus)を利用しました。			
航空券手配方法	京王観光			
大学最寄空港名	デュッセルドルフ空港	現地到着時刻	21時(バスに乗ってデュッセルドルフに到着した時刻です。)	
キャンパスへの移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配の 出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の 出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 公共交通機関 ( <input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他
移動の所要時間	ベルリンからデュッセルドルフに移動し、寮に入る前にホテルで数泊しました。上記はホテルから寮への移動手段です。その際にかかった時間は45分ほどでした。(参考にならないと思いますが…)			

#### 空港からキャンパスへの移動の際の注意点、タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方、料金等

空港からキャンパスへは移動していませんが、大荷物を持って公共交通機関を使う移動は大変でした。

大学到着日 10月4日9時頃

#### 2. 住居について

到着後すぐに住居 入居できましたか？	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	いいえを選んだ方:10月4日から入居可能だった。 10月4日から入寮と知っていたため、それに合わせてホテルを予約していました。
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他( )	
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他( )	
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input checked="" type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input type="checkbox"/> その他( )	
住居を探した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で探した <input type="checkbox"/> その他( )	
住居の申込み手順	大学から送られてくるメールに書いてある通りに、オンライン上で申し込みました。	

#### 住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか？トラブルはありましたか？

寮の申請をオンラインではしたはずなのに、寮側にその通知が行ってなく、デュッセルドルフ大学の国際センターからまだ申し込みができていないというメールが届いたことがありました。オンラインでの申告完了画面をスクリーンショットで保存し、メールに添付して送ることで、無事そのトラブルは解決できました。

#### 3. 留学先でのオリエンテーションについて

オリエンテーションの有無	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった
日程	
参加必須ですか？	<input type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は？	<input type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料(金額: )
内容と様子は？	
留学生用特別ガイダンス	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった
授業開始日	10月9日から

#### IV. その他、渡航してから必要な手続きについて

##### 1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？

デュッセルドルフについてすぐ、住民登録をしました。住民登録をするために、15日あたり前からオンラインで予約を取っていましたが、予約を取らずに住民登録をしに行っても問題なさそうでした。パスポート、大家さんのサインが入った寮の契約書が必要でした。料金はかかりません。待ち時間は長かったです、住民登録自体には時間はあまりかかりませんでした。

##### 2. その他現地でした手続きは？(健康診断、予防接種等)いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？

ビザ申請と学籍登録のために保険に入る必要がありました。大学側の勧めは AOK という会社でしたが、私はそれより安く、ドイツへの渡航前に加入することのできた Care Concept に入りました。AOK に入らない代わりに、大学内にある AOK で自分がどこの保険に加入したかを提示しなければなりませんでした。

##### 3. 現地で銀行口座を開きましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

Sparkasse という銀行で口座を開きました。直接その銀行に行き、まず予約を取りました。再度訪れる際必要だったものは、パスポート、住民登録証明書、学籍登録の証明書でした。お金はかかりません。口座を開いた 2 週間後にポストに自分の暗証番号とカードが同封された手紙が届いていました。

##### 4. 現地で携帯電話を購入しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

寮と大学に Wi-Fi があるため、まだこちらの携帯電話を購入していません。

#### V. 履修科目と授業について

##### 1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？

出発前に( 月 日頃)

オンラインで登録  志願書類に記入して登録  できなかった  その他( )

到着後に(11 月 7 日頃まで)

オンラインで登録  国際オフィス等の仲介  できなかった  その他(オンラインの登録期限が過ぎていても、初回や 2 回目の授業で申告することで履修登録ができました。)

登録時に留学生として優先されることは

あった

なかった

優先が「あった」方はどのように優先されましたか？

オンラインの登録期限は、留学生用以外の科目はほとんど 10 月 6 日まででしたが、留学生用の科目は 11 月 7 日まででした。

優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？

出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？

VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
7:00						週末は勉強したり友達と遊んだり買い物したり観光したりしています。	
8:00	勉強	授業	授業	授業	勉強		
9:00		授業	授業	授業			
10:00			授業				
11:00			授業				
12:00	授業		授業	授業	タンデム		
13:00	授業		授業	授業	タンデム		
14:00	授業	授業	授業	授業			
15:00	授業	授業	授業	授業			
16:00	授業			授業			
17:00	授業			授業			
18:00			タンデム	タンデム			
19:00			タンデム	タンデム			
20:00					勉強		
21:00	勉強	勉強	勉強	勉強	勉強		
22:00							
23:00							
24:00							

VII. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般についてなど、自由に書いてください。

デュッセルドルフ大学には現代日本学部という学部があります。その学部の学生は日本語を習っているのので、タンデムパートナーを見つけることは難しいと思います。私も今のところ週3回タンデムの時間を設け、言語を教えあっています。授業は主に留学生用の授業を履修しています。こちらの学生は皆積極的で、活発に発言しています。私は日本にいたときあまり発言をしない学生だったのでこの授業スタイルがあまり得意ではありません。しかし、少しでも自分のドイツ語能力を上げ、後期自分がとりたい授業をとれるように、自分なりに毎回目標を決めて授業に参加しています。寮は1人部屋でキッチンとバスルームを2人で一緒に使っています。ルームメイトはフランス人ですが、生活リズムが全く違い初めは戸惑うばかりでした。初めての寮生活で、日本にいた時の私がいかに自分勝手に過ごしていたかを気付かされることも多いです。また、この街には本当に多くの日本人がいます。中央駅からほど近くにあるインマーマン通りに行けば、日本食品や日本の本を買うことができ、レストランで日本食を食べることができます。渡航前からデュッセルドルフは日本人の町と聞いていましたが、想像以上に日本が近くにありました。時折必要以上に日本語を話しすぎてしまうかと反省しております。

留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイスをお願いします。

何に対しても早めに行動したほうが良いということは常々感じております。早めに行動しておけば、もしトラブルが起きたとしても落ち着いて対処することができると思います。わからないことや質問があればわからないままにせず聞くことも大切だと思います。また、私は今英語をほとんど忘れてしまった状態で、ドイツで生活しています。ドイツ人と話すときや授業中はもちろん支障はありませんが、他国からきた留学生とのコミュニケーションは英語を使う場面もあり、私が英語を話せないがために自分の交流範囲を狭めてしまっていることを実感しています。何を目的として留学するかは人それぞれだと思いますが、英語ができるに越したことはないのだとドイツに来てからさらに思うようになりました。